



学校だより7月号
2024.6.24

コミュニティ・スクール

船木小



知・徳・**体**

運動会が終わって、ほっとひと息つく間もなく、毎日のように行事があり、各種健康診断をはじめ、授業公開、校外学習、水泳学習など、子どもも教職員もいそがしい（とても頑張っている）日々が続いています。気が付けば、あと1カ月で1学期が終わります。新しい学年になってからの取り組みは、順調に進んでいるのでしょうか？というわけで、今回は、「体」について、振り返ります。

1つ目は、運動です。昨年度、外遊びする子どもの姿が減っているという課題から、6年生が「外に出ていっぱい遊ぼう 船木っ子」というチャレンジ目標を立てました。ありがたいことに、PTA 役員の方々が、昼休みに学校に来て、一緒に遊んでくださる企画が続いていて、子どもたちはとても喜んでいきます。暑い日が続いていますが、無理なく運動して、汗をかくことの気持ちよさを、子どもたちに実感してほしいと思います。



【みんなで、長縄をしました！】

2つ目は、「歯と口の健康」です。6月4日（火）から、フッ化物洗口が始まりました。子どもたちが要領よく洗口できる方法はないかと教職員で考え、学年に応じた方法で順調に実施できています。また、歯と口の健康週間にあわせて、全学年の児童が、歯みがきの仕方を学習しました。6年生に聞いてみると「歯の裏側をちゃんとみがいています。」「時間をかけてみがいています。」という話をしてくれました。むし歯は、放っておいても自然に治りません。早めに治療をし、一生使う歯を、大切にしてほしいです。



【模型を使って歯みがきを練習する1年生】

3つ目は、給食です。栄養教諭の話によりますと、子どもたちは、給食を残さずよく食べているとのこと。苦手なものがあっても、食べようとしている子どもが多いようです。食材の値上がりの影響がある中、献立の工夫を始め、衛生管理や異物混入対策など、調理員も一緒になって、安全で充実した食育に取り組んでいるところです。



【給食、おいしいです！ 3年生】

子どもたちの健やかな成長を願い、これまでの課題を改善しながら、学校教育活動を進めています。子どもたちが、笑顔で夏休みを迎えられるよう、引き続き、ご協力をお願いいたします。



宇部市立船木小学校
校長 徳田 修二



7月



3日(水) パクっとうべ給食
 4日(木) 参観日 読み聞かせ
 5日(金) 委員会活動 集金日
 10日(水) SC8:20~12:20
 GHP4~6年
 16日(火) 着衣水泳5・6年
 17日(水) 保護者懇談会
 18日(木) 保護者懇談会
 給食終了 読み聞かせ
 19日(金) 終業式
 27日(土) PTA防災訓練



8月の主要行事予定

9日(金) ~ 15日(木)
 学校閉庁日
 26日(月) 始業式 大掃除
 27日(火) 給食開始
 28日(水) 地区児童会



1 学期末保護者懇談会

期 日 7月17日(水) 18日(木)

時 間 14:00~16:30 各教室

※給食終了後、13:10下校

※履き物は各自でご準備下さい。

※駐車は必ず運動場をお願いします。お帰りは、堂城ヶ丘側からお願いします。

ありがとうございます ごぞいます

給食では、毎日「ビニールごみ」や「紙ごみ」がでます。ごみの分別に活躍するのが、広告で作られた「ごみ入れ」です。これは、卒業生の「河村 星(かわむらひかり)」さんの「おばあさま」が船木小のみなさんのために毎年作ってくださっています。

今年もたくさん
の「ごみ入れ」
をいただきました。
ありがとうございます。
ごぞいます。



地域の方々へのお願い

船木小学校では、地域の先生を探しています。ぜひご協力をお願いします。

9月:ミシンを使ってナップザックづくり 10月:2年生九九の聞き取り先生

10月:ミシンを使ってエプロンづくり 11月:4年生との彫刻カルタ対決に参加

船木小学校
67-0017
教頭 渡邊

楠中学校区4校合同引き渡し訓練 お世話になりました。

6月19日(水)には、4校合同の引き渡し訓練が行われました。

今年度より、船木小学校児童と楠中学校生徒が、一緒に船木小体育館に避難し、ドライブスルー方式での引き渡しを行いました。皆様のご協力により、無事終えることができました。ご協力ありがとうございました。

訓練後のお気づきをたくさんいただきました。少しですがご紹介します。

- ・雨が降れば運動場のラインはなくなるのでうまく並べるか心配です。
- ・混乱する様子もなく、運動場での誘導がとても手際よくてよかったです。
- ・無線機が聞こえなさそうだったので、体育館入口で確認して、体育館奥のステージ側から子供達が出るのはどうかと思いました。
- ・車の中で列を待ちながら、訓練では落ち着いて待つことができたが、本当の災害では、焦らず待っていることができるのだろうか?と考えました。
- ・訓練の大切さを痛感しました。先生方は大変なのは、重々承知ですが、何度も訓練する中で、より良い引き渡しができるようになればと思いました。

